

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

臨時海軍徵備航空輸送部規程

- 第一條 大東亞戰爭中海軍徵備輸送機ヲ以テスル定期航空輸送ハ本規程ニ依リ之ヲ實施ス
- 第二條 東京ニ臨時海軍徵備航空輸送本部(以下單ニ輸送本部ト稱ス)ヲ置キ鎮守府、警備府及艦隊等ニ臨時海軍徵備航空輸送部(以下單ニ輸送部ト稱ス)ヲ置ク
- 第三條 輸送本部ハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 航空輸送ノ指導統制ニ關スル事項
  - 二 航空輸送ニ要スル人員、機材ノ徵備及其ノ配屬、統制ニ關スル事項
  - 三 航空輸送關係主要職員ノ人事ニ關スル事項
  - 四 其ノ他必要ナル事項
- 第四條 輸送本部ニハ總務課及運營局ヲ置ク
- 第五條 輸送本部ニハ別表第一ノ職員ヲ置ク
- 第六條 輸送本部長ハ航空本部長ニ隸シ部務ヲ總理シ人員、機材ノ配屬及統制ニ關シ輸送本部長ヲ

內令

一一六九

1340

區處ス

- 第七條 總務課長ハ輸送本部長ノ命ヲ承ケ課務ヲ掌理ス
- 第八條 總務課部員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス
- 第九條 運營局長ハ輸送本部長ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス
- 第十條 輸送部ハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 擔任區域内航空輸送ノ指揮、統制ニ關スル事項
  - 二 擔任區域内航空輸送ノ運營ニ關スル事項
- 第十一條 輸送部並ニ同支部及出張所ノ所屬、名稱及所在地並ニ運航擔任區域ハ別表第二ニ依ル
- 第十二條 輸送部ニハ必要ニ應ジ總務課、運航課、器材課、通信課及工場ヲ置ク
- 第十三條 輸送部ニハ部長及部員ヲ置ク
- 部長及部員ハ所屬長官之ヲ命ズ
- 第十四條 輸送部長ハ所屬長官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス
- 第十五條 輸送部ノ支部及出張所ニハ各長及部員又ハ所員ヲ配ス
- 第十六條 徵備輸送機ノ配屬標準ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 人員物件ノ輸送ハ左ノ各號ニ依ル

一 輸送機搭載量標準ヲ別表第三トス

二 座席割當及之ガ管制ハ各司令長官所定トス但シ横鎮擔任ノ座席管制ニ關シテハ輸送本部ト協議ノ上定ムルモノトス

三 輸送人員、物件ノ範圍

(イ) 人員

概テ海軍軍人、軍屬、其ノ他囑託者ノ順序トシ急ヲ要スル者ヲ先トス  
座席ニ餘裕アル場合ハ各司令長官ノ定ムル所ニ依リ海軍ノ必要ト認ムル部外者ヲ便乗セシムルコトヲ得

(ロ) 物件

海軍公用文書、海軍公用貨物及特ニ許可セラレタルモノニ限ル  
便乗者ノ手荷物ハ各自十五瓦以内トス

第十八條 通信ハ昭和十七年兵備三機密第三號ノ二三〇ニ依リ之ヲ實施ス但シ同施設完成迄ハ各艦隊(鎮守府)所定ノ通信系ニ依ル

内 令

一七二

1342

第十九條 航空氣象通報ハ各艦隊（鎮守府）氣象觀測通報規程ニ依ルモノヲ極力利用スルノ外所要ニ應ジ局地間ニ於テ之ヲ行フ

第二十條 飛行警戒ハ各司令長官ノ定ムル所ニ依ル

第二十一條 輸送部ニ對スル燃料ノ補給及處理ハ司令長官ノ定ムル所ニ依ル

第二十二條 司令長官ハ部下航空廠ヲシテ輸送機ノ整備ヲ援助セシムルモノトス

第二十三條 輸送部職員ノ宿營及給養ニ關シテハ各艦隊、鎮守府及警備府ニ於テ所要ノ援助ヲ與フ

ルモノトス

第二十四條 諸報告ハ別表第四ニ依ルノ外各寫一通ヲ輸送本部運營局長ニ送付スルモノトス

（別表第十三添）

内令第千九百九十九號

昭和十七年内令第千九百十二號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部中波風ノ項第四欄ニ「二」ヲ、第十二港務部ノ項ノ次ニ

内令

女川防備隊				守府第八特別陸戰隊ノ項ノ次ニ					吳鎮守府ノ部中吳鎮守府第八特別陸戰隊ノ項ノ次ニ			
				第一防空隊				第十一防空隊				
				第二防空隊				第十二防空隊				
				第三防空隊				第十三防空隊				
				第四防空隊				第十四防空隊				
				第五防空隊								

ヲ、横須賀鎮

ヲ加フ

一七三



1346

舞鎮鎮守府ノ部中舞鶴鎮守府第一特別陸戰隊ノ項ノ次ニ		
第二十八防空隊	一	
第二十九防空隊	一	
第三十防空隊	一	
舞鎮鎮守府ノ部中舞鶴鎮守府第一特別陸戰隊ノ項ノ次ニ		
第三十一防空隊		
第三十二防空隊	一	
ヲ加フ		
備考第七號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ		
八 特設防空隊ノ兵科科長兼分隊長ハ防空隊長ニ充ツルモノトス		
参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以ツテ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ		
内命第千二百號		
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス		
昭和十八年六月十五日		
海軍大臣 嶋田繁太郎		

内令

一七五

内令

厚木海軍航空隊

少佐、大尉	分隊長	一人
兵科尉官	隊附	四人
中少尉(飛)、飛行兵曹長	隊附	十人
中少尉(整)、整備兵曹長	隊附	三人
飛行兵曹		二十一人
整備兵曹、整備兵		百三十八人 ( <small>空整備兵(射爆) 四五 隊航空兵器兵(射爆) 一四</small> )
衛生兵曹、衛生兵		一人
主計兵曹、主計兵		五人

二七六

1347



備考	計		隊附	主計隊長兼 分隊長	軍醫隊長兼 分隊長	機關隊長兼 分隊長	機雷隊長兼 分隊長	副長	司令	特設防備隊定員表 其ノ四		
	特務士官	士官									女 川	
	兵	下士官										准士官
一 防備衛所員ハ本表以外トシ特設防備衛所定員表ト同一ノ人員ヲ增加ス 二 見張員及砲臺員ハ本表以外トシ特設防備隊定員表其ノ一備考第一號ト同一ノ人員及同第 四號ノ砲臺、防空砲臺配員標準ノ人員ヲ各增加ス	四人	六人	主計中少尉(主) 中少尉(機) 中少尉(水)	主計科佐尉官	軍醫科佐尉官	少佐、大尉	中少佐	中少佐	中少佐	水兵 六十九 機關兵 七 工兵 六 衛生兵 三 主計兵 四	兵曹長 工作兵曹長 兵曹 機關兵曹 工兵曹 衛生兵曹 主計兵曹	八十九人 二十一人 三人

特設警備隊定員表 其ノ六ノ二

(昭和十八年内令第千九十七號)

考 備	計		隊 附	隊 附	分 隊 長	主 計 長	軍 醫 長	機 關 長	副 長	司 令	大 中 佐	第 十 二	第 十 二											
	特 務 士 官	士 官												中 尉 (水)	中 尉 (機)	主 計 科 尉 官	軍 醫 科 尉 官	少 佐、大 尉	軍 醫 少 佐、軍 醫 大 尉	少 佐、大 尉	中 少 佐	一	一	
	六人	十二人 内兼務三人												一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	兵	下 士 官												准 士 官	主 計 兵	衛 生 兵	工 作 兵	機 關 兵	水 兵	主 計 兵 曹	衛 生 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹
二百四十七人	八十三人	八人	二十八	九	六	三十四	百七十	三	三	二	十七	五十八	一	一	一	一	四							

一 兼務分隊長ハ機關長、軍醫長及主計長ノ兼務トス  
 二 中少尉(水)及兵曹長ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得  
 三 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコト  
 四 特修兵ハ適宜トス

特設警備隊定員表 其ノ八ノ二

考 備	計		隊 附			分隊長			主計長			軍醫長			機關長			副長			司令		
	特務	士官	中少尉(工)	中少尉(機)	中少尉(水)	主計科尉官	軍醫科尉官	中少尉	軍醫少佐、軍醫大尉	主計少佐、主計大尉	少佐、大尉	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫少佐、軍醫大尉	少佐、大尉	少佐、大尉	中少佐	中少佐	中少佐	中少佐	中少佐	中少佐	中少佐	
			一	一	十	一	一	八	兼務一 兼務一	兼務一 兼務一	七	二内兼 一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機關兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機關兵	兵	主計兵	衛生兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
			九百六十二	九十一	二十三	二十三	四十三	四十五	四	三	二十二	百九十五	一	一	十九								
			千二百二十九人	二百二十九人	二十一人																		

一 兼務分隊長ハ機關長、軍醫長及主計長ノ兼務トス  
 二 分隊長大尉ハ大中尉(水)ヲ以テ代フルコトヲ得  
 三 中少尉ハ豫備中少尉ヲ以テ代フルコトヲ得  
 四 中少尉、中少尉(水)及兵曹長ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得  
 五 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコトヲ得  
 六 特修兵ハ適宜トス

別表第一

臨時海軍徴備航空輸送本部職員表

(昭和十八年内令第千百九十八號)

備考	長 中少將 兼務一	總務課 長 大中佐 兼務一	部 員 兼務七	附 兼務 適宜
	運營局 海軍省業務囑託タル大日航第二運營局職員ヲ以テ充ツ			
一、本部長ハ航本總務部長ノ兼務トス 二、總務課長ハ航本總務部第一課長ノ兼務トス 三、總務課部員ハ航空本部部員五、軍務局局員一及兵備局局員一ヲ以テ之ニ充ツ 四、總務課附ハ輸送本部長ノ指定スル航空本部附ヲ以テ之ニ充ツ				

1351

別表第二

隊艦四第	隊艦面方西南		府守鎮賀須横			所屬
隊艦四第 備徴部送輸空航	隊艦面方西南 部送輸空航備徴軍海		軍海府守鎮賀須横 部送輸空航備徴			輸備航 送備航 部送部空
ト ラ ツ ク	ス ラ バ ヤ		東 京			所 同 在 地 上
同 上 支 部	昭 南 支 部 上	同 上 支 部	横 濱 支 部 上	臺 北 支 部 上	東 京 支 部 上	支 航 空 輸 送 部 部
サイ バ ン	昭 南	ス ラ バ ヤ	横 濱	臺 北	東 京	所 同 在 地 上
バラ オ、 ボナ ベ	香 港、 海口、 西貢、 ジ ヤ カ ル タ	マ ニ ラ、 ダ バ オ、 マ カ ツ サ ル、 ア ン ボ ン、 バ リ ツ ク バ バ ン			福 岡	所 航 空 輸 送 部 出 張 所 在 地
内 南 洋、 東 京 ニ ユ ー ギ ニ ア 方 面 地 區	島 臺 北 以 西 地 區	ス ラ バ ヤ、 昭 南、 海 南	ス ラ バ ヤ、 バ ン ジ エ ル マ シ ン、 バ リ ツ ク バ バ ン、 比 島、 臺 北 以 東 占 領 地 域	横 濱 サイ バ ン ト ラ ツ ク 間 及 第 四 艦 隊 擔 當 區 域 ヲ 除 ク 川 西 大 艇 航 線	東 京、 臺 北 間	運 航 擔 當 區 域

(昭和十八年内令第千九百九十八號)

別表第三

(昭和十八年内令第千九十八號)

備考		輸送機搭載量標準				
(二)(一) 人員一人ノ體重(服裝共)ヲ六十五匁ト概算ス 人員物件輻輳ノ狀況ニ依リ搭載量ヲ相互融通スルコトヲ得	機種	ダグラス三型	中攻型	大型飛行艇	中型飛行艇	
	人員	一二	七	一二	八	
	同上手荷物	一五匁	一五"	一五"	一五"	
	貨物	二三〇匁	四〇〇"	七〇〇"	三〇〇"	
	計	一一九〇匁	九六〇匁	一六六〇匁	九四〇匁	
記事						

別表第四

航空機故障損表(月報)	航空事故調書	燃料油類消耗月報	缺航遅發着報告	運航實施報告(旬報)	豫備プロペラ現狀報告(月報)	豫備發動機現狀報告(月報)	飛行機現狀旬報	搭乗員飛行時間及現狀月報	書類
第九	第八	第七	第六	第五	第四	第三	第二	別表様式第一	様式
二	二	二	二	二	二	二	二	二	通數
"	"	"	"	"	"	"	"	支輸 送部 部長	調整者
"	"	"	"	"	"	"	"	所屬 長官	提出先
毎月十日迄	共ノ都度	毎月十日迄	共ノ都度	毎旬	"	毎月十日迄	毎旬	毎月十日迄	提出期日

(昭和十八年内令第千九百九十八號)

別表様式第一

(昭和十八年内令第千百九十八號)

搭乗員飛行時間及現狀報告

海軍 徵 備 航 空 輸 送 部

昭和 年 月 日

配 置 氏 名	飛前 行月 時 間中	累計 飛行時間	現 狀	備 考

1355



別表様式第二

(昭和十八年内令第千百九十八號)

昭和 年 月 日 第 旬 飛行機現況旬報 提出者 印

1356

機種	機名	機體使用時數		發動機使用時數			プロペラ使用時數			現況		
		製造後	検査後	製造番號	製造後	検査後	製造番號	製造後	検査後	就航能	不能	摘要
		右										
		左										
		右										
		左										
		右										
		左										
		右										
		左										
		右										
		左										
		右										
		左										
		右										
		左										
		右										
		左										

註 就航不能機ハ現況摘要欄ニ修理狀況、修理完成豫定日ヲ必ズ記載ノコト

別表様式第三

(昭和十八年内令第百九十八號)

提出者

印

1357

(No. ) 豫備發動機現況報告 昭和 年 月 日現在					
型 式	發 動 機 番 號	製 造 後 總 時 間	前 回 手 入 後 使 用 時 間	摘 要	

別表様式第四

(和昭十八年内令第千百九十八號)

提出者 / 印

1358

(No. ) 豫備プロペラ現況報告 昭和 年 月 日現在					
型 式	プロペラ番號	製造後總時間	前回手入後使用時間	摘	要

別表様式第五

(昭和十八年内令第千九十八號)

( 時 ) 運 航 實 施 報 告

昭 和 年 月 旬 分

提出者

印

1359

目次	出發地	到着地	横領 番號	乗務員 氏名	出發時	到着時	所要時間	寄港又ハ 不時着陸 (水)	搭乗者 數	貨物量目	
										個數	斤
(日曜)			號		時分	時分	時分		名		
(日曜)			號		時分	時分	時分				
(日曜)			號		時分	時分	時分				
(日曜)			號		時分	時分	時分				
(日曜)			號		時分	時分	時分				
(日曜)			號		時分	時分	時分				
(日曜)			號		時分	時分	時分				
(日曜)			號		時分	時分	時分				

- 摘 要
1. 乗務員氏名欄ニハ機長以下何名ト記入ス
  2. 搭乗者員數ニハ各隊及支所ヨリ搭乗セシ員數計ヲ記入ス
  3. 貨物量目欄ニハ各隊及支所ヨリ搭載セシ合計個數及斤ヲ記入ス

別表様式第六

缺航遅着報告

海軍徴備航空輸送部

(昭和十八年内令第百九十八號)

昭和 年 月 日

年月日	區別 (缺航遅着)	便名	區間	機名	搭乗員		理山
					配置氏名	機長	
					通信士	機關士	航空士

註 遅着ハ一時間以上ノモノニ限ル

1360

別表様式第七

(昭和十八年内令第千九十八號)

燃料油類消耗月報 海軍徴備航空輸送部 昭和 年 月 日

種別	前月數量	本月受入量	本月消耗量	本月殘量	備考

1361

番發 號送	於昭和年月日	輸送部長 職氏名印	(輸送機名)		航空事故調書	事故發生年月日時及場所	航空作業種別	搭		乘		機		機		機		損傷ノ程度	器	搭	乘	材	事故概要	原因	責任	所見	記
			官職階氏名飛行時數	官職階氏名飛行時數				官職階氏名飛行時數	官職階氏名飛行時數	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日	製造番號及製造年月日										

備考

一、本表調製範圍ニ於ケル航空機ノ大破トハ航空機ガ全般的ニ破損シ隊内若ハ艦内工作又ハ部品換  
 裝ニ依ルモ再使用不能ト爲リタルモノヲ謂フ

二、航空機衝突事故ハ一事故ト看做シ同一調書ニ記載スルモノトス

三、事後詳報ヲ要スルモノハ摘要ノミヲ記載シ其ノ旨記事欄ニ記註スルモノトス

四、事故調書發送後該事故ノ原因調査參考ト爲ルベキ事項ヲ發見シタル場合ニハ速ニ其ノ資料ヲ補  
 足スルモノトス

五、事故調書ハ事故發生後成ルベク速ニ(遅クトモ事故發生後七日以内)發送スルモノトス

別表様式第九

(昭和十八年内令第千九百九十八號)

發送番號	昭和 年 月 日	海軍徵備航空輸送部長職氏名印
------	----------	----------------

航空機故障(缺損表) (之部)

年 月 日	航空機發動機 名稱、製造 年 月 日	故障缺損 箇所	故障缺損 發生經過 概要ノ概況	故障缺損 ノ原因	製造後ノ使 用時數修理 又ハ損傷後 ノ使用時數	處置ノ概要 復舊ニ要セ シ具數及時 間	記 事

(備考)

- 一、本表ニハ航空事故調書記載ノ航空機ニ關スルモノハ記載セザルコト
- 二、本表ハ飛行機機體(艙裝及冷却器ヲ含ム)、氣球竝ニ飛行船船體(機體ニ準ズ)、航空發動機及「プロペラ」ニ分チ別紙ニ記註スルコト
- 三、發動機及「プロペラ」ノ名稱欄ニハ其ノ裝備航空機名稱ヲ記註スルコト
- 四、同一機種ニ對スル故障缺損ハ之ヲ纏メテ記註スルコト
- 五、重要ナル故障缺損ニ付テハ成ルベク寫眞ヲ添付スルコト
- 六、本表ハ毎月十五日及月末(重要故障缺損發生)ニ際シテハ其ノ都度調整スルコト

1363



内令第千二百一號(所要ノ向ヘ配付ス)

内令第千二百二號(所要ノ向ヘ配付ス)

内令第千二百三號

第一驅逐隊

横須賀鎮守府豫備驅逐艦

驅逐艦 沼 風

驅逐艦 神 風

右警備驅逐艦ト定メラル

横須賀鎮守府豫備驅逐艇

第十四號驅逐艇

第十五號驅逐艇

吳鎮守府豫備驅逐艇

第三十五號驅逐艇

内令

一一八一

1364

右警備驅潛艇ト定メラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十六號驅潛艇

内令第一千二百四號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一驅逐隊ノ項中「沼風、神風」ヲ「野風、沼風、波風、神風」ニ改ム

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第一千二百五號

第三百二號哨戒艇

内令  
提要  
掲載

内令  
提要  
掲載

内令  
要登載

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千二百六號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第二十六號」ノ次ニ「第三十二號」ヲ、  
第二十一特別根據地隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第百六號」ノ前ニ「第百五號」ヲ加フ  
吳鎮守府ノ部佐伯防備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十一特  
別根據地隊

第百七號

大阪警備府ノ部紀伊防備隊ノ項掃海特務艇ノ欄ニ「第二十一號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令

一一八三

1366

内令提  
要登載

内令提  
要登載

内令

二八四

内令第千二百七號

特設監視艇隊編制申左ノ通改定セラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四監視艇隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、一四二ノ一〇頁参照)

内令第千二百八號

吳鎮守府所管

特設監視艇 第二幸昌丸

同 第二漁勝丸

同 第貳共和丸

同 海王丸

同 第五盛秋丸

同 第八號正榮丸

1367

内令提  
登載

右横須賀鎮守府所管ト改ム

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第一千二百九號

昭和十七年内令第六百五十八號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

伊勢防備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

隊	備	防	川	女
第一須山丸	第五吉丸	辨天丸	第七振興丸	第二號桐丸
第三魁丸	第十長榮丸	第七平丸	第二號桐丸	第二號桐丸
第一天幸丸	第五盛秋丸	第八號正榮丸	第二號桐丸	第二號桐丸
第二天幸丸	第五盛秋丸	第八號正榮丸	第二號桐丸	第二號桐丸
第二天幸丸	第五盛秋丸	第八號正榮丸	第二號桐丸	第二號桐丸
第二天幸丸	第五盛秋丸	第八號正榮丸	第二號桐丸	第二號桐丸
第二天幸丸	第五盛秋丸	第八號正榮丸	第二號桐丸	第二號桐丸

内令

一一八五

1368

内令

一一八六

第十一特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十  
根據地  
特別隊

第一京丸  
水丸

(内令提要卷三、五〇ノ一五頁参照)

内令第千二百十號

特設掃海隊編制申左ノ通改定セラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四十一掃海隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、一四二ノ八頁参照)

内令  
提要  
登録

1369

内令提  
要登載

内令第千二百十一號

右特設掃海艇トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船 高雄丸

内令提  
要登載

内令第千二百十二號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

哨戒艇ノ部中「第百一號」ノ下ニ「、第百二號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三二頁参照)

内令

一一八七

1370

内令提  
要登載

内令第千二百十三號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇機關使用限度標準表中別表ノ通改正ス

別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千二百十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第千八百八十二號中「風雲」ノ下ニ「萩風」ヲ加フ

昭和十八年内令第七百八十一號中「島風」ノ下ニ「萩風」ヲ加フ

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦萩風、野分、嵐、舞風

兵 曹、水 兵 五人(掌砲兵 一)

参照 昭和十七年内令第千八百八十二號ハ驅逐艦滿潮等ニ人員臨時増置ノ件

昭和十八年内令第七百八十一號ハ驅逐艦島風ニ人員臨時増置ノ件

内 令

一一八九

1371



内令  
要  
登  
載

内令

二九〇

内令第千二百十五號

昭和十七年内令第三百六號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

表ヲ左ノ如ク改ム

分工場ヲ置ク地	呼稱	分掌事項
神奈川縣平塚市	横須賀海軍工場造機部分工場	鑄鍛造荒削ニ關スル事項
山口縣宇部市	吳海軍工廠宇部分工場	機械及同部分品ノ造修ニ關スル事項
備考	吳海軍工廠宇部分工場ハ吳海軍工廠直屬トシ其ノ分工場内ニ於ケル區分等ニ關シテハ吳海軍工廠長ノ定ムル所ニ依ル	

参照 昭和十七年内令第三百六號ハ海軍工廠ノ分工場ヲ置ク地、呼稱及分掌事項ヲ定ムルノ件ナリ。(内令提要卷一、三〇ノ六頁)

内令第千二百十六號

昭和十六年内令第九百二十九號聯合艦隊司令部ノ部中

1372

「特務中少尉、兵曹長 附 二人（吳、佐世保鎮守府在籍者 各一）  
兵 曹、水 兵 二十二二人（掌電信兵 〔横須賀鎮守府在籍者 一三〕  
〔佐世保鎮守府在籍者 一八〕）  
ヲ削リ第二艦隊司令部ノ部中

「特務中少尉、兵曹長 附 一人（佐世保鎮守府在籍者）

兵 曹、水 兵 二十一人  
〔掌電信兵 高三〕  
〔横須賀鎮守府在籍者 四八〕  
ヲ「兵曹、水兵 九人（掌

信號兵 高三）ニ改ム  
暗號兵 五）

昭十七年内令第千二百八十三號中「特務中少尉、兵曹長 附 一人（佐世保鎮守府在籍者）ヲ削

ル  
左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十六年内令第七百七十八號（羅津通信隊（會文分遣隊）等ノ人員臨時増減ノ件）

同 年内令第千二百七十五號（第三艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件）

同 年内令第千四百二十九號（第六通信隊ニ人員臨時増置ノ件）

昭和十七年内令第四百五十四號（第八通信隊ニ人員臨時増置ノ件）

内令

一一九一

1373

同	年内令第九百六十號 (第五艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百六十一號 (第六通信隊ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百九十三號 (大和田通信隊ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百九十五號 (大和田通信隊ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百二十七號 (第一南遣艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百二十九號 (大和田通信隊等ノ人員臨時増減ノ件) (済)
同	年内令第九百六十四號 (聯合艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百七十一號 (舞鶴海軍通信隊 (中北條分遣隊) 等ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百八十九號 (第五十一通信隊等ノ人員臨時増減ノ件) (済)
同	年内令第九百二十五號 (第一聯合通信隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件) (済)
同	昭和十八年内令第九十五號 (南西方面艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百六十一號 (第一聯合通信隊司令部ニ人員臨時増置ノ件) (済)
同	年内令第九百六十四號 (第六艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件) (済)

内令第千二百十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍通信隊

兵 曹 長 一人

兵 曹、水 兵 二十人(掌電信兵)

東京海軍通信隊

兵 曹、水 兵 二十人(掌電信兵 一〇)

千島方面特別根據地隊

兵 曹、水 兵 十人(掌電信兵)

第三特別根據地隊

兵 曹、水 兵 十六人(掌電信兵 一三  
掌暗號兵 四)

第二十一航空戰隊司令部

内 令

二一九三

1375

内令

一二九四

第二十二航空戦隊司令部

兵 曹、水 兵

四人(掌電信兵)

内令第千二百十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

海軍艦政本部

大

佐

出仕

一人

兵科、技術科佐尉官又ハ技師

出仕

兼務十人

技 術 科 佐 尉 官

出仕

二人

呉海軍工廠

中少將、技術中少將

出仕

一人

技術科佐尉官又ハ技師

出仕

兼務十三人  
七人

1376

<p>書 記 附 臨時一人</p> <p>技 手 附 四人</p> <p>減員</p> <p>海軍艦政本部</p> <p>技 手 四人</p>	<p>内令第千二百十九號</p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p> <p>昭和十八年六月十五日</p> <p>海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>第二海軍工作部</p> <p>技 師 部員 臨時一人</p>	<p>内令第千二百二十號</p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p>
-------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------

内 令

一一九五

1377

内令

一一九六

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二百十一設營隊

第二百三十一設營隊

中少尉

附

三人

内令第千二百二十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

山中海軍病院

主計兵曹、主計兵

一人(掌經理兵)

内令第千二百二十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

1378

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

海軍艦政本部

兵科、技術科佐尉官

出仕

六人(兼海軍省軍需局局員)

第一海軍燃料廠

書記

附

八人(兼屬トシテ海軍省軍需局ニ於テ勤務セシムベキモノ)

技手

附

四人(海軍省軍需局ニ於テ勤務セシムベキモノ)

減員

第一海軍燃料廠

書記

附

二人

技手

附

一人

第二海軍燃料廠

書記

附

四人

内令

一一九七

1379



内令

第三海軍燃料廠

技

書

手

記

附

附

二人

二人

二九八

1380

内令提  
要登載

内令第千二百二十三號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

昭和十八年六月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

伊號第七十九潜水艦

内令提  
要登載

内令第千二百二十四號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年六月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ一中「第七十八」ノ下ニ「第七十九」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ五六頁参照)

内令提  
要登載

内令第千二百二十五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

一一九九

1381

内令

一一〇〇

昭和十八年六月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「第七十八」ノ下ニ「第七十九」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三〇頁参照)

1382

内令  
要登載

内令  
要登載

内令第千二百二十六號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦、一等ノ部中「陽炎型」ヲ「不知火型」ニ改メ同項中「陽炎、」「黒潮、親潮」ヲ削ル

(内令提要卷三、三二頁参照)

内令第千二百二十七號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

水路部定員表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、一八五頁参照)

内令

一一〇一

内令

要  
登  
載

内令第千二百二十八號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表共ノ五中「陽炎、親潮、黒潮、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ四六頁参照)

内令第千二百二十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表共ノ十四中「陽炎、親潮、黒潮、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四三〇ノ二七頁参照)

11011

1384

水路部定員表

(昭和十八年内令第千二百二十七號)

考 備	計	長 中少將 一										
		特 務 士 官	官、高 等 文 官	修 技 所	第三 部	第二 部			第二 部		會 計 部	總 務 部
				長	長 少 將 一	長 少 將 一			長 少 將 一		長	長
				大 中 佐	第七 課	第六 課	第五 課	第四 課	第三 課	第二 課	第一 課	計 大 中 佐 一
士 官	百二十六人 <small>内特務一人</small>	附 <small>(衛生中尉)</small>	編 修	部 員					兵 科 佐 官	兵 曹		
判 任 文 官	四 人	中 少 尉 (水)	二	技 師	主 計 大 尉	主 計 少 佐	軍 醫 中 佐	大 尉	少 佐	大 尉	二 十八	二
	四 百 十二 人	三	一	七 十 一	二	一	八	一	八	一	二	一
		技 手	書 編 記 修	書 記	衛 生 兵 曹					三 百 七 十三	二 十 四	

要  
登  
載  
内  
令  
提

内令第千二百三十號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第十九號」ノ次ニ「第二十二號」ヲ加フ

(前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ)

内令第千二百三十一號

昭和十六年内令第千三百七十六號中左ノ通改正ス

同年内令第千五百十號中「三人」ヲ「二人」ニ、「九人(掌電信兵 特修兵適宜(暗號)七)」ヲ「五人(掌暗號兵)」

ニ改ム

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

表ヲ左ノ如ク改ム

内  
令

一〇三

1386

内令

特 修 兵	主計兵	一人			一人											東京海軍 通信隊
	工作兵															佐世保海 軍通信隊
	機關兵		二人													高雄海軍 通信隊
	水兵		二十九人													横須賀海 軍通信隊
	主計兵曹	一人														吳海軍 通信隊
	衛生兵曹				一人											大湊海軍 通信隊
	機關兵曹	一人														舞鶴海軍 通信隊
	兵曹	二人							九人							鎮海海軍 通信隊
	兵曹長															
中少尉(水)隊附														一人		
少佐、大尉分隊長														一人		

一三〇四

1387



内令

参照 昭和十六年内令第千三百七十六號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件  
 同 年内令第千五百十號ハ横須賀海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件

掌 暗 號 兵	掌 工 兵		掌 電 機 兵	掌 内 火 兵		掌 機 兵 罐	掌 電 信 兵		掌 砲 兵
	木 具	仕 上		普	高		普	高	
				一			二	九	一
						二	八	八	
	一								
		一	一					九	
							三	二	
六									
				一					

二二五

1388

内令第千二百三十二號

昭和十六年内令第千三百七十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保海軍通信隊ノ部表中佐世保海軍通信隊、顯姪分遣隊及博多分遣隊ノ各欄ヲ削ル  
横須賀海軍通信隊ノ部表中八丈分遣隊ノ欄ヲ削ル

吳海軍通信隊ノ部表中吳海軍通信隊ノ欄「一人」ヲ削リ「十一人」(掌電信兵)ヲ「二人」(掌電信兵)ニ、「二人」(掌機兵内火)ヲ「一人」(掌内火兵)ニ改メ宮崎分遣隊ノ欄ヲ削ル

大湊海軍通信隊ノ部表中艦作分遣隊ノ欄ヲ削ル

鎮海海軍通信隊ノ部表中鎮海海軍通信隊ノ欄「七人」(掌電信兵)ヲ「四人」(掌電信兵)ニ改メ平海分遣隊ノ欄ヲ削ル

参照 前記内令ハ佐世保海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百三十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス